

令和4年度広島かき生産出荷指針について

1 要旨・目的

令和3年度の実績を踏まえ、安全で高品質な「広島かき」の生産出荷を図るため、「令和4年度広島かき生産出荷指針」を定めた。

2 現状・背景 《令和3年度の実績》

広島かきの身入りは、漁期の前半は平年に比べ若干下回って推移したものの、中盤からは上回って推移したことから、漁期全体では平均むき身重量は16.4gとなり、平年の105%となった(表1)。

広島かきの生産量は、中盤まではやや低位に推移したが、後半の5月以降の出荷量が伸びたことから、漁期全体では18,200トンとなり、平年の98%となった(表1及び図1)。

生産額は、平均単価が平年を上回ったため、190億円となり、平年の110%となった(表1及び図2)。

表1 令和3年度の実績

区分	令和3年度		令和2年度	平年	
	対前年度 (比率)	対平年 (比率)			
平均むき身重量(g)	16.4	+0.9 (106%)	+0.8 (105%)	15.5	15.6
生産量(トン)	18,200	+1,000 (106%)	-440 (98%)	17,200	18,640
生産額(億円)	190	+30 (119%)	+18 (110%)	160	172
平均単価(円/kg)	1,042	+113 (112%)	+115 (112%)	929	927

※生産量：むき身重量と殻付きをむき身重量に換算した合計値

※平年：H23～R2年平均値

3 骨子の概要 《令和4年度の実績》

(1) 計画期間

令和4年10月～令和5年5月

(2) 策定に当たっての考え方

安全で高品質な「広島かき」の生産出荷を図り、日本一の生産量を維持する。

(3) 取組の方向

ア むき身生産量2万トンの維持

シーズンを通じて身入りの良いかきの生産出荷を推進することで、生産目標2万トンの達成をめざす。

イ 環境にやさしい持続的な養殖への取組の推進

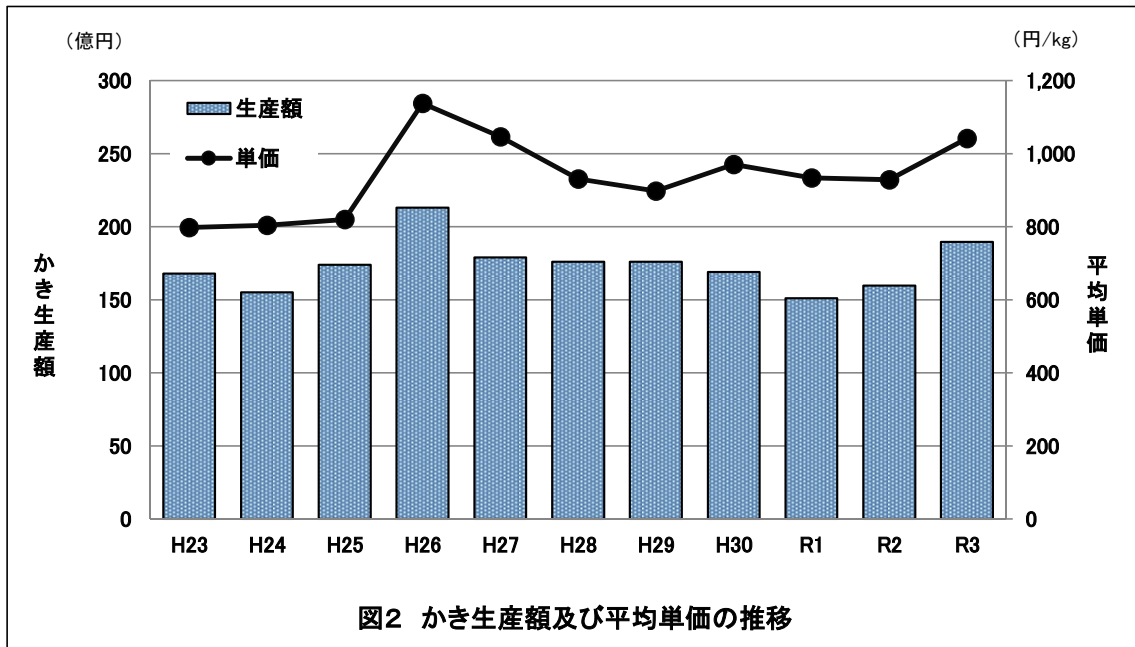
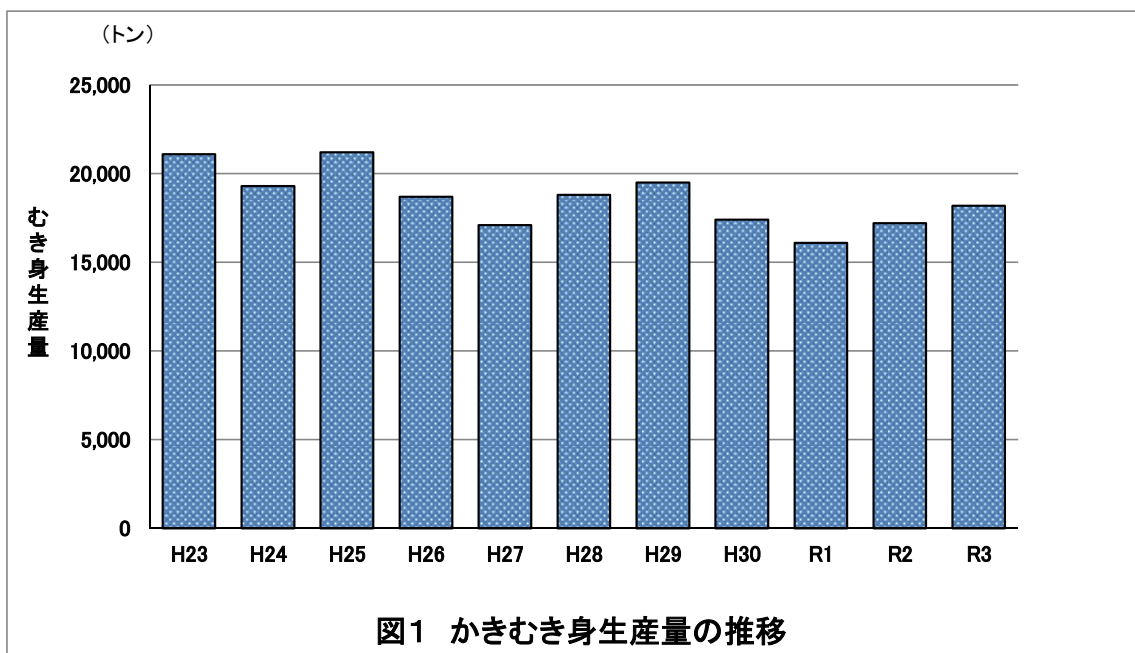
養殖資材の流出防止を徹底するとともに、水産エコラベルの取得を推進することで、環境にやさしい持続的な養殖をめざす。

ウ HACCP を導入した衛生管理の強化

安全・安心な広島かきを出荷するため、HACCP を導入した衛生面での自主管理を推進することで、記録に基づく衛生管理体制をめざす。

4 その他（関連情報等）

かきのむき身生産量、生産額及び平均単価の推移



令和4年度

広島かき生産出荷指針



広島県

はじめに

令和3年度の広島かきの生産は、直近4カ年の採苗が順調に推移したことから、年間2万トンの生産目標に回復することが見込まれる中で始まりました。

このような中、コロナ禍による生産体制への影響もあり、漁期中盤までの生産量はやや低位にあったものの、むき身生産主体の広島かきの需要は堅調に推移しました。漁期後半の5月以降は、かきの成育も良く、需要も引き続き堅調に推移したことから出荷量は伸び、漁期全体の生産量は、昨年度より回復したものの、目標を下回る結果となりました。

このような中、広島かきが全国一の生産を続けるためには、天然種苗の確保が最も重要であることから、令和4年度も生産者を含めた関係者が連携した採苗対策の取組を継続しました。その結果、5年連続で必要量の種苗を確保することができ、生産目標を達成するための基盤を維持することができました。

また、SDGsなど世界的な環境への関心の高まりを受け、より環境に配慮した取組が重要となってきたことから、令和元年度から実施しているかき養殖用パイプの流出防止対策の取組を徹底する必要があります。さらには、持続的な水産物の生産を認証する制度である水産エコラベルの取得を積極的に進める必要があると考えております。

本年も生産、流通、加工及び市場関係者の皆様の御協力を得て、広島かきの生産、出荷及び価格の動向や、出荷に際しての方針を取りまとめることができました。調査に御協力いただいた皆様に感謝いたしますとともに、高品質で安全安心なおいしい「広島かき」を多くの方々に食べていただきますようお願いしております。

令和4年10月

広島県農林水産局長 大 濱 清

目 次

I	令和4年度 生産出荷対策	1
1	重点推進項目	1
2	生産出荷指導方針	1
3	衛生面における令和4年度「広島かき」重点指導方針	4
II	令和3年度 広島かき生産出荷状況	6
1	生産量	6
2	生産額	8
III	統計・参考資料	9
1	かき生産量の推移	10
(1)	国別生産量	10
(2)	県別生産量	10
2	広島かきの生産出荷状況	11
(1)	年度別生産量等	11
(2)	年度別主要市場別出荷量	11
(3)	月別主要市場別出荷量（令和3年度）	12
(4)	月別加工向け出荷量（令和3年度）	13
(5)	年度別加工品生産量	13
3	国別輸出量（令和3年・全国）	14
4	国別輸入量（全国）	14
5	年次別生かき購入金額（全国・1世帯当たり）	15
6	都道府県庁所在市別かき支出金額及び購入数量（1世帯当たり）	15
7	かき養殖における主な被害発生状況等	16
8	（参考資料1）広島かきの処理概略図	17
9	（参考資料2）水産エコラベル	18
10	（参考資料3）漁業系廃棄物の種類（例）	19
11	（参考資料4）養殖資材流出防止対策	19

I 令和4年度生産出荷対策

1 重点推進項目

(1) むき身生産量2万トンの維持

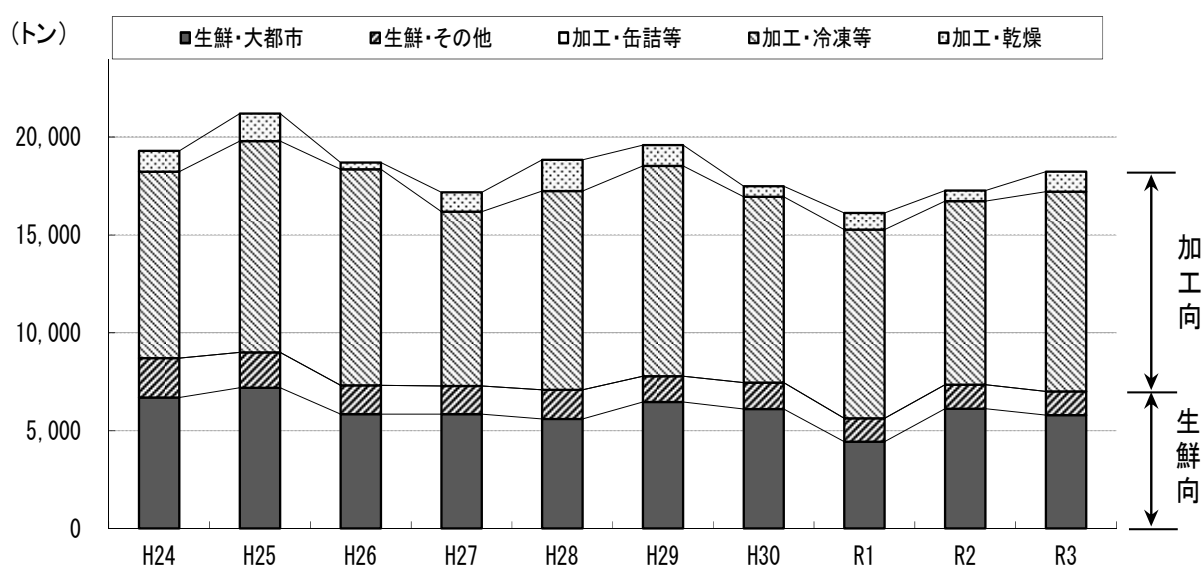
シーズンを通じて身入りの良いかきの生産出荷を推進することで、生産目標20,000トンの達成をめざす。

(2) 環境にやさしい持続的な養殖の推進

養殖資材の流出防止を徹底するとともに、水産エコラベルの取得を推進することで、環境にやさしい持続的な養殖をめざす。

(3) HACCPを導入した衛生管理の強化

安全・安心な広島かきを出荷するため、HACCPを導入した衛生面での自主管理を推進することで、記録に基づく衛生管理体制をめざす。



第1図 生産実績

2 生産出荷指導方針

(1) 品質と収益を重視したかき養殖の推進

ア 食品衛生法等の諸規定に沿った温度、塩分濃度等の管理を行い、広島かきの品質の向上に努め、消費者ニーズに即したかきを供給することで、高品質な広島かきの出荷推進を図る。

イ 漁場生産力に応じた養殖規模への転換を引き続き推進し、高品質な広島かきの生産と安定的なかき養殖経営の維持を図る。

ウ 収益率が低く、漁場環境の悪化につながる3年養殖を削減する。

(2) 安全・安心なかきの供給

ア 生産者、仲買業者、販売業者及び加工業者は各段階で法律等に定められた適正な表示を行うとともに、HACCPを導入した衛生管理の普及拡大を図り、消費者等への適切な情報提供及び信頼確保に努める。

イ 「貝毒対策実施要領」に基づき、養殖海域での貝毒プランクトン調査と貝毒検査を実施するとともに、ノロウイルス対策についても自主検査に取り組むことで徹底した監視体制のもと、安全なかきを出荷する。

ウ 夏期の生食用殻付きかきの出荷については、関係法令及び新たに開発した人工浄化技術を盛り込んだ「夏期における殻付きかき出荷衛生対策指針」に基づき、衛生対策に十分配慮するとともに、高品質のかきの出荷に努める。

(3) 適正な漁業権行使

ア 筏に標識を装着し、漁業権行使規則台数を遵守する。

イ 無標識筏については、漁業協同組合が撤去指導等を行う。

ウ 行使規則などで定めた養殖筏の規格、垂下連数を遵守する。

(4) 優良な種苗の確保

ア 採苗は漁場秩序を守り、生産出荷計画に見合った数量の確保に努め、採苗後の種苗管理を徹底し、優良種苗の確保に努める。

イ 生産に支障を生ずる恐れのある県外産種苗等の導入は、必要最小限に止める。

ウ 天然採苗できることが本県かき産業の最大のメリットであることから、安定的な採苗のため、かき幼生の餌の多い広島湾北部海域に母貝筏を設置するなど、科学的根拠に基づいた安定的な種苗確保に努める。

(5) 環境にやさしい養殖への取組

ア かき殻及びかき殻洗浄残渣は、「かき殻及びかき洗浄残渣等の処理要領」に基づき適切な処理を行い、引き続き肥料等への再利用を進める。なお、一時堆積場へ搬入するかき殻については、破碎処理を行う。

イ 養殖用廃材については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を遵守した適切な処理を行うとともに、循環型社会へ対応するための再利用処理システムの検討を進める。

ウ フロート等の養殖資材は、環境に配慮した素材のものへの転換に努める。

エ プラスチックパイプ等の養殖資材については、各作業工程において流出させないための対策を実施するとともに、積極的な回収、再利用を行う。

オ 「広島かき漁場改善計画」に基づき、養殖漁場の改善を図るために必要な体制の整備を進める。

カ 海底耕うんなどを実施し、漁場改善に努める。

キ 豊かな漁場の維持・改善及び海・河川・森林の連関した自然環境への保全意識の高揚を図るため、植樹活動を推進する。

(6) ヘテロカプサ等赤潮対策

ア 日常的に養殖漁場の水温、塩分及び溶存酸素の調査を行い、漁場環境の監視に努める。赤潮発生時には細胞数及び溶存酸素に注意した調査を行い、

ヘテロカプサ等のプランクトンや貧酸素（4.3mg/l（3ml/l）以下）を確認した場合，速やかに農林水産事務所に報告する。

イ 赤潮情報には十分注意を払い，各漁業協同組合において組合員への情報伝達体制を整える。

ウ 赤潮注意報・警報発令時は，養殖筏の移動には十分注意を払う。

エ 漁業経営安定対策への積極的な参加や，養殖共済への加入促進を図り，赤潮による経済的損失の軽減に努める。

（7）かき養殖作業就業者対策

ア 県内のかき養殖業では，日本人労働者の高齢化等により，養殖作業全般において労働力が不足する状況にあり，外国人技能実習制度を活用して受け入れた技能実習生が，海上における養殖作業や加工場でのむき身作業を担っている状態となっている。このため，引き続き関係機関と連携し，制度の適正な運用を図る。

イ かき養殖の生産環境の厳しさから，今後も労働力の確保が困難な状況が続くことが考えられるため，養殖作業の省力化や労働環境の改善等を検討するとともに，かき養殖の経営の安定化を図ることで労働力を確保する。

3 衛生面における令和4年度「広島かき」重点指導方針

【処理業者】

1 処理について

- (1) 生食用かきと加熱調理用かきの、用途別処理を徹底すること。
- (2) 殻付きかきの一時貯蔵やむき身かきの洗浄に用いる海水は、希釈しないこと（ボーリング海水を使用する場合は塩分濃度が2%以上であることを定期的に確認すること）。

2 出荷について

製品の運搬を委託する場合は、輸送業者との契約等により適切な温度管理の実施を確保すること。

3 衛生管理について

- (1) 従事者の検便項目に、腸管出血性大腸菌検査や必要に応じてノロウイルス検査を加えること。
- (2) 業界団体が作成した「かき作業場の衛生管理計画例」を参考に、事業者自らが衛生管理計画を作成し、「かき作業場作業日誌」を毎日、記録すること。また、記録は1年間保管すること。

4 その他

貝毒対策としての遵守事項を徹底すること。

【仲買業者】

1 集荷について

広島県産以外のかき（輸入かきを含む）を取り扱う場合は、表示を十分に確認するとともに、集・出荷状況についての記録や、誤って混合しないように集荷したかきの保管を徹底すること。

2 処理について

- (1) 加熱調理用かきを生食用かきに転用しないこと。
- (2) 広島県産以外のかき（輸入かきを含む）を取り扱う場合は、原則として広島県産かきと別ラインで処理を行うなど、広島県産かきと広島県産以外のかき（輸入かきを含む）が混合することのないよう防止措置を取ること。
- (3) むき身かきの洗浄に用いる海水は、希釈しないこと（ボーリング海水を使用する場合は塩分濃度が2%以上であることを定期的に確認すること）。

3 出荷について

- (1) つけ水の塩分濃度が2%以上であることを確認すること。
- (2) 製品の運搬を委託する場合は、輸送業者との契約等により適切な温度管理の実施を確保すること。

4 衛生管理について

- (1) 従事者の検便項目に、腸管出血性大腸菌検査や必要に応じてノロウイルス検査を加えること。
- (2) 業界団体が作成した「かき作業場の衛生管理計画例」を参考に、事業者自らが衛生管理計画を作成し、「かき作業場作業日誌」を毎日、記録すること。また、記録は1年間保管すること。

5 その他

貝毒対策の遵守事項を徹底すること。

【加工業者】

- 1 広島県産以外のかき（輸入かきを含む）を取り扱う場合は、表示を十分に確認するとともに、集・出荷状況についての記録や、誤って混合しないように集荷したかきの保管を徹底すること。
- 2 原料用かき及び製品について、貝毒の自主検査を実施すること。
- 3 ノロウイルス検査結果で、集荷した海域が「ノロウイルス陽性」となった場合、加熱調理用に切り替える等、生食用として流通させないこと。
- 4 貝毒対策実施要領に基づく検査結果で、水揚げした海域から貝毒が検出された場合、注意体制、自主規制等適切な対応をとること。
- 5 冷凍かきは、賞味期限が長く、食中毒発生時には、被害が広域かつ長期に渡る可能性があるため、加熱調理用とすること。生食用とする場合は自主衛生管理を徹底し、健康被害の発生を防止すること。また、成分規格違反等に備えて回収プログラムを作成しておくこと。

【原料かきの輸送業者】

「原料かき輸送業作業日誌」を作成し、毎日、記録すること。また、記録は1年間保管すること。

Ⅱ 令和3年度広島かき生産出荷状況

1 生産量

区 分	令和3年度		令和 2年度	平 年	
	対前年度 (比率)	対平年 (比率)			
総生産量(トン)	18,200	+1,000 (106%)	-440 (98%)	17,200	18,640
生鮮向け(トン)	7,000	-300 (96%)	-730 (91%)	7,300	7,730
加工向け(トン)	11,200	+1,300 (113%)	+290 (103%)	9,900	10,910

(注)平年：平成23～令和2年平均値

(水産課調べ)

(1) 生産量

- ア 総生産量は18,200トンで、前年を6ポイント上回り、平年を2ポイント下回った。
- イ 生鮮向けは7,000トンで、前年を4ポイント、平年を9ポイント下回った。
- ウ 加工向けは11,200トンで、前年を13ポイント、平年を3ポイント上回った。

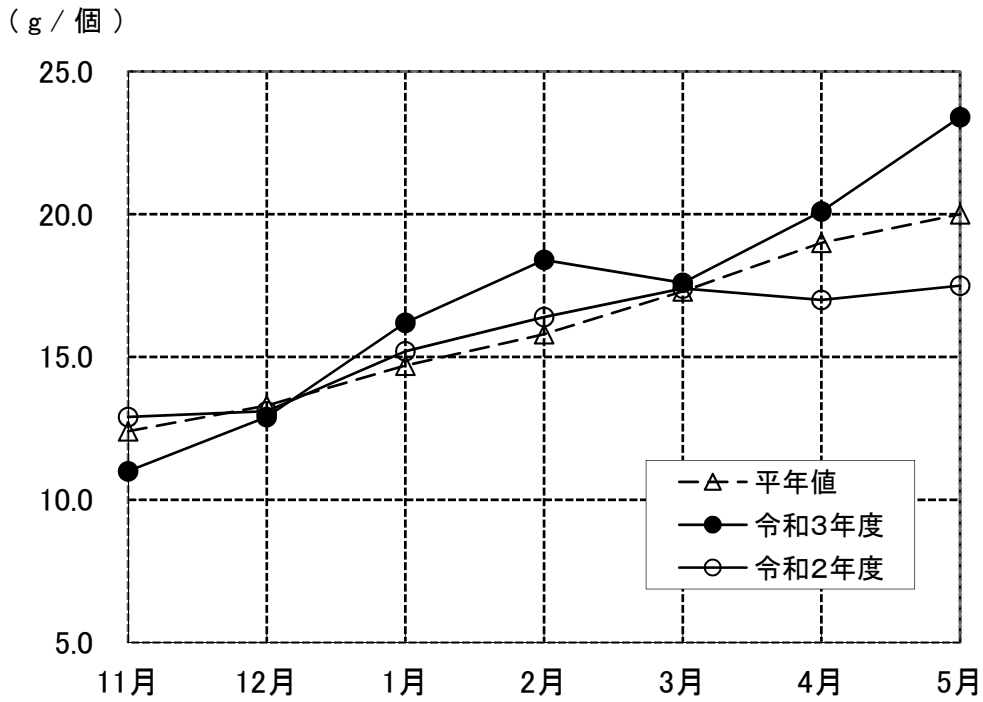
(2) 生産状況

- ア 採苗は、かきの餌が多い広島湾北部海域への母貝筏の設置や、かき幼生調査結果等の共有化を図ったことで、7月末には必要数量を確保した。
- イ 出荷は、広島かき生産対策協議会において「起点日と定める10月1日以降において、漁業協同組合ごと、あるいは生産者個々が、かきの身入り、消費動向、需要を見て最善と思われる時期に開始する」ことを決定した。
- ウ 身入りは、漁期前半は平年を若干下回って推移したが、漁期中盤以降は概ね平年を上回って推移したことから、今期の平均むき身重量は、16.4gとなり、平年を5ポイント上回った。(第2図)

(3) 出荷状況

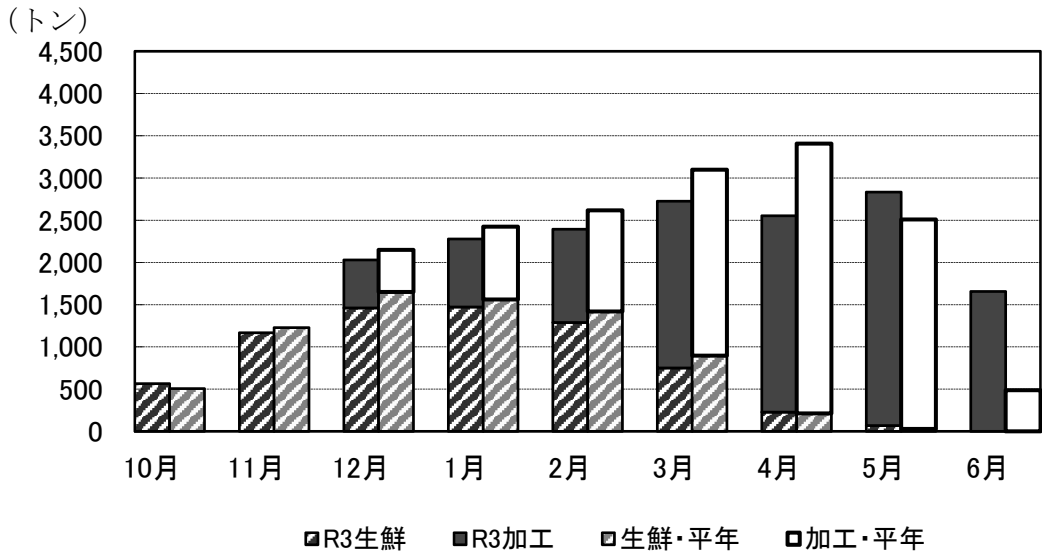
- ア 調査を行った全国の市場へのかき出荷量は、9,495トンで、前年を1ポイント上回った。このうち本県出荷量は、3,684トンで、前年を16ポイント下回った。本県出荷量が全国に占める割合は39%で前年を7ポイント下回った。
- イ 生鮮向け主体の年内の出荷は、平年と同程度に推移した。加工向け主体の漁期後半の出荷は、成育も良く高単価であったことから、特に5月以降の生産量が増加し、平年を上回った。(第3図)

県内の年間平均むき身重量は 16.4g となり，前年（15.5g）及び，平年（15.6g）を上回った。



第2図 月別出荷個体重(県平均) (水産課調べ)

(注) 平年値は平成23年から令和2年の平均



第3図 用途別月別出荷量 (水産課調べ)

(注) 平年値は平成23年から令和2年の平均

2 生産額

区 分	令和3年度		令和 2年度	平 年
	対前年度 (比率)	対平年 (比率)		
生産額(億円)	190	+30 (119%)	160	172
平均単価(円/kg)	1,042	+113 (112%)	929	927
生鮮向け(円/kg)	1,290	+170 (115%)	1,120	1,210
加工向け(円/kg)	886	+98 (112%)	788	729

(注)平年:平成23~令和2年平均値

(水産課調べ)

(1) 生産額

ア 生産額は190億円で、前年を19ポイント、平年を10ポイント上回った。

イ 生鮮向け生産額は91億円で、前年を11ポイント上回り、平年を2ポイント下回った。

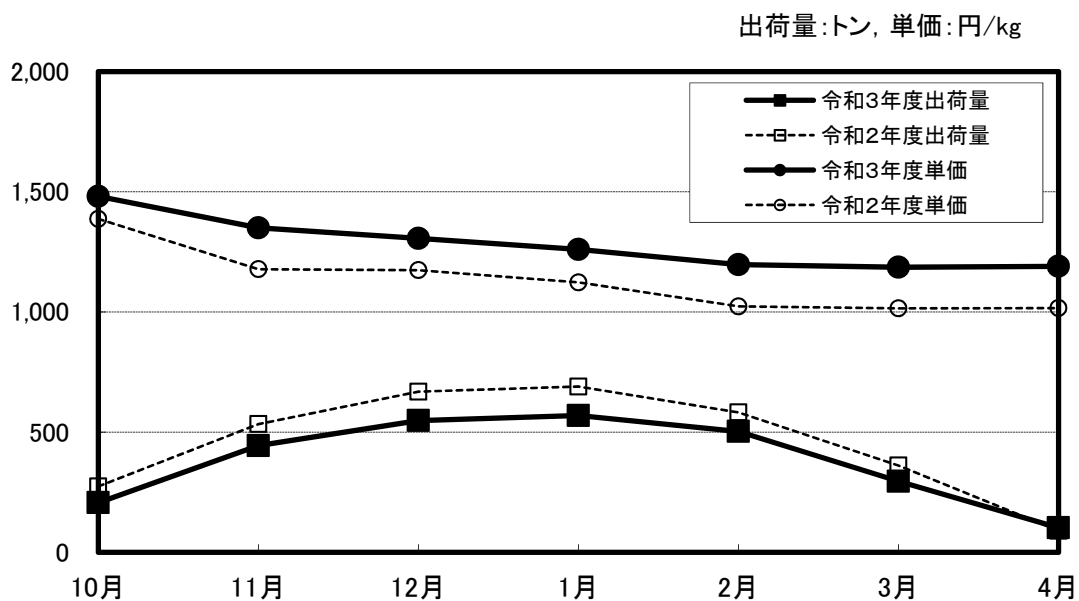
ウ 加工向け生産額は99億円で、前年を27ポイント、平年を25ポイント上回った。

(2) 単価

ア 平均単価は1,042円/kgで、前年を12ポイント、平年を12ポイント上回った。

イ 生鮮向け単価は1,290円/kgで、前年を15ポイント、平年を7ポイント上回った。

ウ 加工向け単価は886円/kgで、前年を12ポイント、平年を22ポイント上回った。



第4図 主要市場への出荷実績

(水産課調べ)

Ⅲ 統計・参考資料

1 かき生産量の推移

(1) 国別生産量

単位:千トン(殻付)

年次 国名	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
中国	4,352	4,574	4,835	4,879	5,140	5,226	5,425
大韓民国	283	287	284	330	342	357	326
日本	184	164	159	174	176	162	159
アメリカ	125	189	199	207	200	223	183
フランス	77	77	65	65	85	86	81
台湾	25	22	22	23	22	19	19
フィリピン	22	20	20	23	29	36	53
タイ	17	14	20	15	21	27	16
オーストラリア	11	13	12	12	9	9	9
カナダ	13	13	14	15	16	16	11
アイルランド	9	10	8	10	10	11	9
メキシコ	13	62	58	76	65	55	54
その他	23	67	71	30	54	59	31
計	5,155	5,510	5,768	5,860	6,169	6,287	6,375

(注1) 暦年 (注2) 生産量は養殖と漁獲を合わせたもの

(FAO資料)

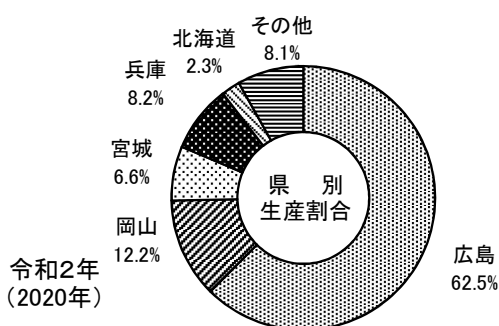
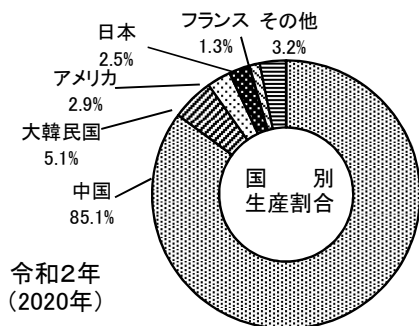
(2) 県別生産量

単位:トン(むき身)

年次 都道府県名	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
広島	21,098	19,322	17,294	18,708	18,809	17,928	17,358
岡山	3,739	2,368	3,436	3,010	3,447	2,704	3,398
宮城	2,087	1,869	1,906	2,442	2,609	2,141	1,843
兵庫	1,881	1,542	1,466	2,221	2,163	1,840	2,279
北海道	613	652	687	651	646	644	650
岩手	477	576	602	642	665	634	616
三重	536	523	621	600	532	513	370
福岡	478	413	465	484	452	443	413
石川	295	215	212	286	241	236	193
香川	227	158	165	187	164	127	164
長崎	117	118	127	132	135	128	131
愛媛	117	115	116	112	118	113	99
新潟	110	134	79	96	72	72	82
静岡	142	133	97	65	58	54	37
京都	58	76	80	63	43	45	56
大分	26	18	25	29	29	29	21
その他	118	128	125	118	97	91	78
計	32,119	28,360	27,503	29,846	30,278	27,742	27,787
広島県占有率(%)	65.7	68.1	62.9	62.7	62.1	64.6	62.5

(注1) 暦年

(注2) 農林水産省「漁業・養殖業生産統計年報」海面養殖業収穫統計調査のかき類(殻付き重量)を基に、むき身重量を広島県で推定した



2 広島かきの生産出荷状況

(1) 年度別生産量等

区分		年度							
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
生産量(トン)		18,700	17,100	18,800	19,500	17,400	16,100	17,200	18,200
内 訳	生 鮮 向 け	7,300	7,200	7,100	7,700	7,400	5,600	7,300	7,000
	加 工 向 け	缶詰向け	—	—	—	—	—	—	—
		冷凍等向け	11,050	8,910	10,110	10,740	9,470	9,650	9,370
		乾燥等向け	350	990	1,590	1,060	530	850	530
		小 計	11,400	9,900	11,700	11,800	10,000	10,500	9,900
生産額 (億円)	生 鮮 向 け	105	98	91	92	88	72	82	91
	加 工 向 け	108	81	85	84	81	79	78	99
	小 計	213	179	176	176	169	151	160	190
単 価 (円/kg)	生 鮮 向 け	1,437	1,363	1,271	1,192	1,187	1,285	1,120	1,290
	加 工 向 け	947	816	725	707	810	746	788	886
	平 均	1,138	1,046	931	898	970	934	929	1,042
経営 体数	県西部・中部	314	300	304	297	293	277	270	266
	県東部	—	—	—	—	33	33	26	30
	計	314	300	304	297	326	310	296	296

(注)年度は7月～翌年6月

(水産課調べ)

(2) 年度別主要市場別出荷量

(単位:トン)

年度	仙台		東京		横浜		名古屋		京都		大阪府		大阪市	
	総量	広島	総量	広島	総量	広島	総量	広島	総量	広島	総量	広島	総量	広島
H26	359	52	2,135	769	426	190	654	415	205	128	369	223	1,161	564
H27	346	45	2,322	963	466	227	691	414	182	126	472	291	1,269	528
H28	308	32	2,192	744	539	267	762	479	185	129	510	307	1,177	497
H29	514	31	2,363	961	460	187	726	456	201	140	569	359	1,277	590
H30	512	41	2,186	954	452	182	711	479	193	132	479	295	1,164	535
R1	538	27	1,968	820	354	130	577	340	158	116	390	221	929	415
R2	369	42	2,316	1,125	387	205	655	447	175	124	406	257	1,137	652
R3	423	55	2,337	947	354	169	660	378	163	101	376	193	1,109	547

年度	神戸		福岡		広島		計		広島かき 占有率
	総量	広島	総量	広島	総量	広島	総量	広島	
H26	293	150	239	132	231	219	6,072	2,842	47%
H27	156	45	189	106	209	194	6,302	2,939	47%
H28	225	89	267	116	196	184	6,361	2,844	45%
H29	151	97	360	153	216	210	6,837	3,184	47%
H30	201	91	178	91	210	207	6,286	3,007	48%
R1	141	78	140	83	174	175	5,369	2,405	45%
R2	160	92	151	80	209	209	5,966	3,233	54%
R3	127	69	179	80	185	184	5,912	2,722	46%

(注1)年度は7月～翌年6月

(水産課調べ)

(注2)総量は他県産を含めた出荷量

(注3)殻付きかきはむき身換算して加えた出荷量

(3) 月別主要市場別出荷量(令和3年度)

(単位 出荷量:kg, 単価:円/kg)

項目	10		11		12		1		2	
	出荷量	単価	出荷量	単価	出荷量	単価	出荷量	単価	出荷量	単価
仙 台	2,500	1,460	5,213	1,377	9,804	1,237	15,286	1,186	14,999	1,098
東 京	60,332	1,401	141,875	1,226	167,513	1,173	198,649	1,240	175,176	1,208
横 浜	9,755	1,468	23,093	1,395	35,471	1,211	33,571	1,236	38,751	1,101
名 古 屋	31,626	1,460	59,847	1,406	73,702	1,362	87,078	1,225	75,504	1,214
京 都	8,022	1,481	19,913	1,456	21,434	1,449	20,067	1,340	18,313	1,254
大 阪 府	14,144	1,436	32,433	1,274	43,745	1,178	39,405	1,115	36,789	1,055
大 阪 市	58,608	1,516	101,687	1,412	113,965	1,331	109,946	1,214	92,059	1,168
神 戸	5,981	1,683	13,906	1,461	15,559	1,608	14,388	1,579	10,968	1,530
福 岡	3,591	1,361	19,414	1,048	21,355	1,043	14,736	1,018	13,546	957
広 島	11,937	1,766	26,693	1,773	45,673	1,802	35,993	1,734	26,885	1,514
主要市場	206,496	1,481	444,074	1,350	548,221	1,306	569,119	1,260	502,990	1,197
そ の 他	88,825	1,480	166,048	1,393	215,226	1,353	200,150	1,303	170,072	1,218
計	295,321	1,481	610,122	1,362	763,447	1,319	769,269	1,271	673,062	1,202

項目	3		4		5		計		市場別 出荷割合
	出荷量	単価	出荷量	単価	出荷量	単価	出荷量	単価	
仙 台	3,748	1,174	2,558	1,220	1,180	1,288	55,288	1,205	1.5%
東 京	104,883	1,212	65,937	1,210	31,257	1,276	945,622	1,226	25.9%
横 浜	21,311	1,163	6,796	1,130	102	1,281	168,850	1,221	4.6%
名 古 屋	46,916	1,133	2,836	1,125	136	1,411	377,645	1,286	10.3%
京 都	11,322	1,237	1,578	1,292	0	—	100,649	1,369	2.8%
大 阪 府	23,323	988	2,963	947	20	1,350	192,822	1,150	5.3%
大 阪 市	54,136	1,123	14,422	1,077	68	1,191	544,891	1,288	14.9%
神 戸	7,232	1,465	684	1,474	0	—	68,718	1,550	1.9%
福 岡	3,614	1,189	72	1,206	140	1,220	76,468	1,047	2.1%
広 島	18,909	1,495	4,200	1,475	1,731	1,517	172,021	1,691	4.7%
主要市場	295,394	1,186	102,046	1,190	34,634	1,289	2,702,974	1,279	73.9%
そ の 他	96,660	1,229	17,017	1,277	1,050	1,267	955,049	1,323	26.1%
計	392,054	1,197	119,063	1,202	35,684	1,288	3,658,023	1,291	100.0%

(水産課調べ)

(注1)むき身のみのお荷量

(注2)主要市場のうち、大阪府、神戸市場は殻付きかき、大阪市、福岡市場は冷凍かきを含む。その他も一部市場は殻付きかき、冷凍かきを含む。

(注3)その他は、主要市場を除く市場

(4) 月別加工向け出荷量(令和3年度)

(単位:トン, 円/kg)

区分 \ 月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	計
出荷量	569	806	1,105	1,975	2,324	2,766	1,656	11,200
単価	940	890	884	901	915	893	797	886

(注)単価は, 加工業者購入単価の平均値

(水産課調べ)

(5) 年度別加工品生産量

(単位:トン)

区分 \ 年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
冷凍	10,793	7,201	10,098	10,299	8,472	8,725	9,271	10,493
冷凍食品	3,379	1,770	2,523	3,005	1,416	1,709	1,483	1,513
ブロック	31	28	24	28	54	—	3	102
一粒(IQF)	6,488	4,851	6,964	6,316	5,901	5,783	6,763	7,874
スチームかき	195	145	337	653	746	818	618	633
冷凍殻付かき	700	407	250	297	355	416	403	371
珍味	—	1	12	—	—	—	2	—
乾燥かき	97	272	437	292	146	233	146	285

(水産課調べ)

3 国別輸出量(令和3年・全国)

単位 数量:kg, 金額:千円

国名	品名	生きているもの, 生鮮, 冷蔵		冷凍, 乾燥など		計	
		数量	金額	数量	金額	数量	金額
香	港	214,204	400,689	776,934	1,029,418	991,138	1,430,107
台	湾	12,482	36,663	757,186	506,763	769,668	543,426
中	華 人 民 共 和 国	50,559	64,746	166,101	122,035	216,660	186,781
タ	イ	47	237	71,770	80,847	71,817	81,084
シ	ン ガ ポ ール	1,000	1,190	229,638	245,161	230,638	246,351
マ	レ ー シ ア			106,560	70,936	106,560	70,936
オ	ー ス ト ラ リ ア			44,950	75,878	44,950	75,878
フ	ィ リ ピ ン			28,043	32,881	28,043	32,881
マ	カ オ	95	498	16,670	22,919	16,765	23,417
ベ	ト ナ ム			89,785	56,701	89,785	56,701
イ	ン ド ネ シ ア			5,008	6,224	5,008	6,224
ロ	シ ア	93,036	175,343	200	390	93,236	175,733
ア	ラ ブ 首 長 国 連 邦			1,530	1,855	1,530	1,855
ミ	ャ ン マ ー			0	0	0	0
ブ	ル ネ イ			910	1,468	910	1,468
そ	の 他			8,745	15,901	8,745	15,901
合	計	371,423	679,366	2,304,030	2,269,377	2,675,453	2,948,743

(注)暦年

(財務省:貿易統計)

4 国別輸入量(全国)

単位 数量:kg, 金額:千円

国名	品名	平成30年				令和元年			
		生きているもの, 生鮮, 冷蔵		冷凍, くん製		生きているもの, 生鮮, 冷蔵		冷凍, くん製	
		数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
大	韓 民 国	197,960	167,224	3,954,775	2,586,901	243,050	237,801	4,110,611	2,976,767
中	国	34,669	22,226	-	-	45,008	28,631	-	-
ニュ	ー ジ ー ラ ン ド	4,748	7,350	79,734	125,670	2,775	4,896	127,831	214,790
ア	メ リ カ	23,799	23,236	-	-	31,859	33,281	-	-
オ	ー ス ト ラ リ ア	4,258	8,108	7,257	11,169	5,659	8,713	5,842	12,176
カ	ナ ダ	1,239	2,258	-	-	-	-	-	-
そ	の 他	9,615	11,863	-	-	8,459	9,750	-	-
合	計	276,288	242,265	4,041,766	2,723,740	336,810	323,072	4,244,284	3,203,733

国名	品名	令和2年				令和3年			
		生きているもの, 生鮮, 冷蔵		冷凍, くん製		生きているもの, 生鮮, 冷蔵		冷凍, くん製	
		数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
大	韓 民 国	186,010	158,759	3,953,810	3,001,896	75,210	72,855	3,741,324	2,871,840
中	国	35,567	21,148	-	-	23,389	12,528	-	-
ニュ	ー ジ ー ラ ン ド	1,725	3,042	41,260	65,234	361	660	35,192	64,533
ア	メ リ カ	30,881	27,383	-	-	26,628	24,182	-	-
オ	ー ス ト ラ リ ア	3,726	5,304	4,085	7,923	2,089	3,281	1,404	3,756
カ	ナ ダ	1,080	1,868	-	-	-	-	-	-
そ	の 他	188	212	-	-	266	427	-	-
合	計	259,177	217,716	3,999,155	3,075,053	127,943	113,933	3,777,920	2,940,129

(財務省:貿易統計)

5 年次別生かき購入金額(全国・1世帯当たり)

単位 金額:円, 数量:g, 平均価格:円/100g

年次	区分	消費支出額	うち食料費	うち生鮮魚介	うち生かき		
					金額	数量	平均価格
H23		3,395,456	872,802	45,345	925	627	147.54
H24		3,434,026	879,402	44,546	926	507	182.54
H25		3,485,454	895,860	45,117	891	494	180.27
H26		3,494,322	913,261	45,753	951	502	189.42
H27		3,448,482	937,712	46,454	945	484	195.27
H28		3,386,257	947,618	45,820	964	471	204.43
H29		3,396,330	946,438	43,649	955	502	190.17
H30		3,447,782	952,170	41,499	875	467	187.22
R1		3,520,547	965,536	41,387	775	416	186.01
R2		3,335,114	962,373	43,610	786	436	180.55
R3		3,348,287	952,812	42,610	864	518	166.91

(注)暦年

(総務省:家計調査)

6 都道府県庁所在市別かき購入数量及び支出金額(1世帯当たり)

単位 数量:g, 金額:円

順位	年次	平成28年			平成29年			平成30年		
		都市名	数量	金額	都市名	数量	金額	都市名	数量	金額
1		北九州市	1,053	1,129	広島市	1,573	4,009	広島市	1,624	2,064
2		仙台市	985	1,608	長崎市	911	1,044	長崎市	906	938
3		長崎市	798	789	鳥取市	844	1,295	鳥取市	761	1,232
4		広島市	794	1,977	岡山市	778	1,682	大阪市	708	850
5		神戸市	773	1,669	名古屋市	722	1,036	千葉市	677	1,086
全国平均			443	857		450	880		441	832

順位	年次	令和元年			令和2年			令和3年		
		都市名	数量	金額	都市名	数量	金額	都市名	数量	金額
1		広島市	1,248	2,843	広島市	1,455	3,018	広島市	1,253	2,039
2		長崎市	1,118	1,370	札幌市	1,302	1,241	鳥取市	898	957
3		岡山市	905	1,163	北九州市	834	1,186	岡山市	858	1,508
4		仙台市	641	1,483	和歌山市	798	1,010	大分市	790	825
5		大津市	612	1,148	佐賀市	779	742	和歌山市	719	960
全国平均			400	745		425	768		444	814

(注)暦年

(総務省:家計調査)

7 かき養殖における主な被害発生状況等

(1) 台風による被害発生状況

年	被害発生日	被害状況	被害額 (百万円)
H3	9月27日(台風19号)	かき養殖筏 5,668台 かき養殖施設等 299カ所 かき生産物	5,401
H11	9月24日(台風18号)	かき養殖筏 3,380台 かき養殖施設等 439カ所 かき生産物	3,776
H16	7月31日-8月3日(台風10号) 8月30-31日(台風16号) 9月7日(台風18号) 9月29日(台風21号) 10月20日(台風23号)	かき養殖筏 4,108台 かき養殖施設等 902カ所 かき生産物	7,386

(2) ヘテロカプサ赤潮による被害発生状況

年	発生期間	発生海域	最高密度 (cells/ml)	被害状況	被害額 (百万円)
H7	11月9日 ~12月27日	広島湾海域 (宮島周辺)	9,000	かき(コレクター) 610万枚	275
H9	8月9日 ~11月5日	広島湾海域(全域) 呉湾海域 広湾海域	100,000	かき(コレクター) 494万枚	222
H10	7月27日 ~9月28日	広島湾海域(全域) 呉湾海域 広湾海域	30,000	かき(コレクター) 8,518万枚	3,833
H11	8月12日 ~10月21日	広島湾海域 (南部, 北部, 中部海域) 呉湾海域・広湾海域	3,000	—	—
H13	9月27日 ~10月12日	広湾海域 広島湾海域(北部)	2,500	—	—
H25	9月18日 ~10月31日	広島湾西北部・北部 海域	55	—	—

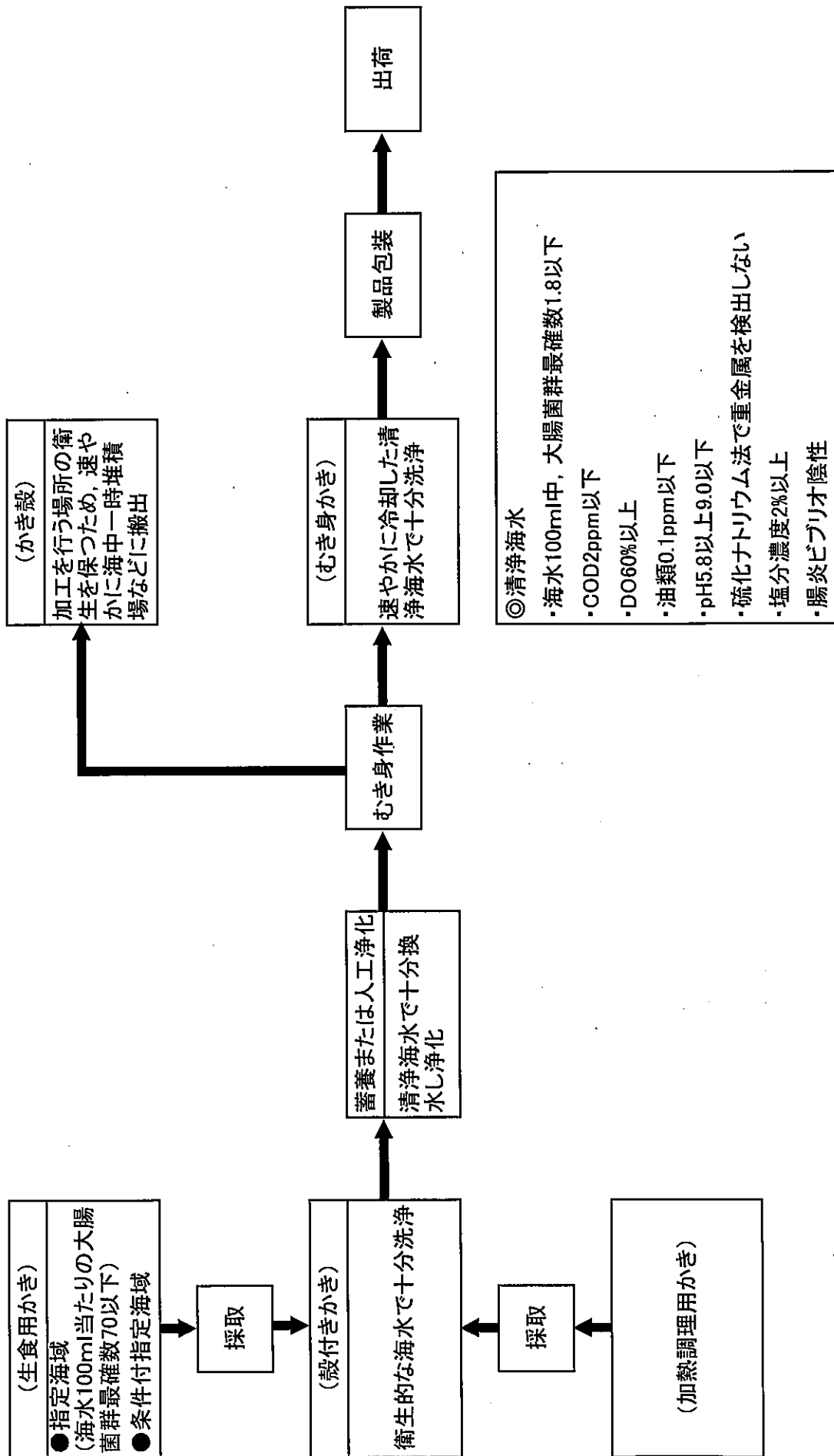
(注)平成8年, 12年, 14~24年及び26~令和元年はヘテロカプサ赤潮の発生なし。

(3) 貝毒による被害発生状況

年	自主廃棄指示日	検出最高値 (MU/g)	廃棄量 (トン)	被害額 (万円)
H4	4月10日・23日	38.0	1,800	120,000
H5	4月9日・5月6日	9.84	323	10,000
H7	4月22日	37.4	6	272
H8	5月8日	20.8	8.5	357
H9	4月25日	27.5	23.8	1,000
H10	3月28日・4月28日	16.0	47.8	1,600
H14	広湾海域 4月17日 広島湾中部海域 4月27日 広島湾北部海域 4月29日	13.2	27.3	1,100
H15	広島湾西部海域 5月1日	15.9	55.5	2,398
H18	広島湾北部海域 5月13日	8.19	47.0	2,000
H24	広湾海域 5月9日 広島湾北部海域 5月10日	6.60	32.2	1,208

(注)いずれも麻痺性貝毒による。平成6年, 11~13年, 16, 17年, 19~23年, 25~令和元年は貝毒による自主規制なし。

8 (参考資料1) 広島かきの処理概略図



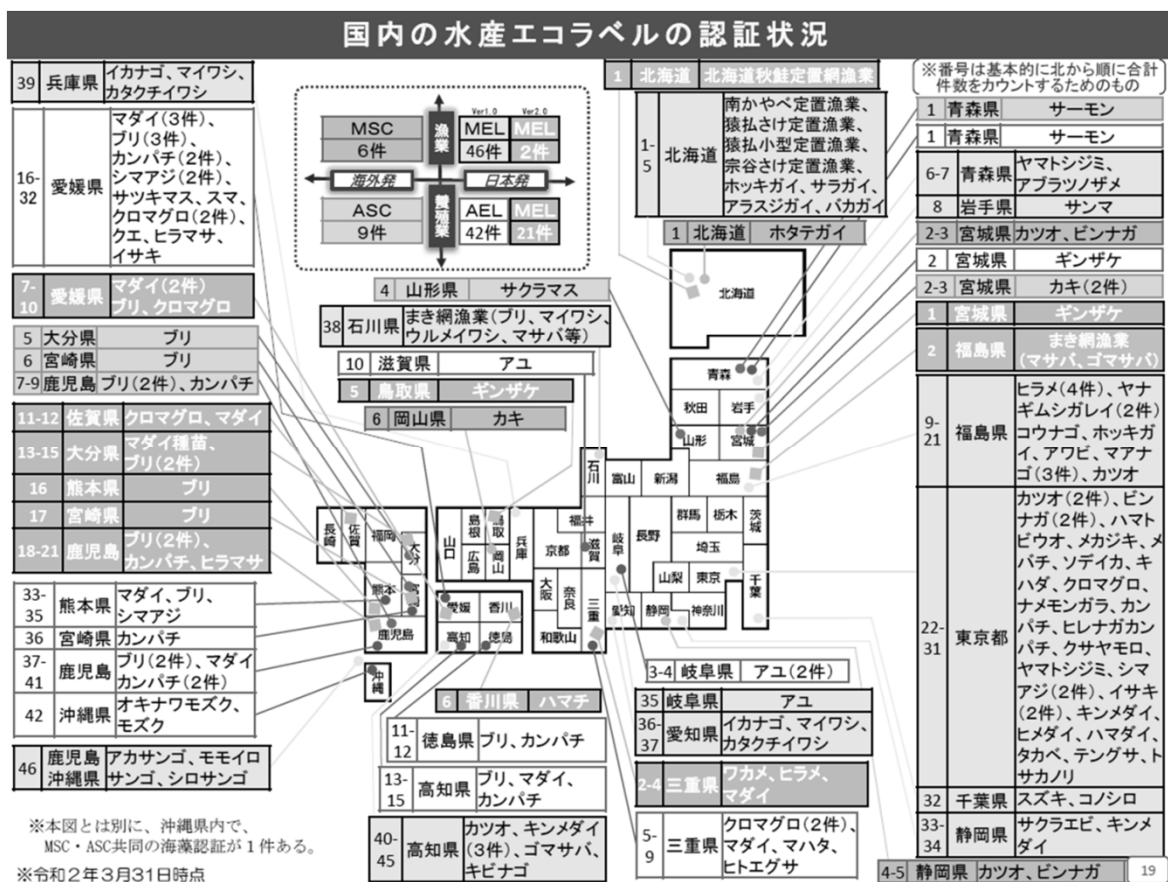
9 (参考資料2) 水産エコラベル

●水産エコラベルとは

生態系や資源の持続性に配慮した方法で漁獲・生産された水産物に対して、消費者が選択的に購入できるよう商品にラベルを表示するスキームのこと。1995年に、FAO(国連食糧農業機関)総会で「責任ある漁業のための行動規範」が採択され、その具体策として水産エコラベルの取り組みが始まりました。

●国際的な動きと国内の動き

欧米の流通業者を中心に、生態系や資源の持続性に配慮した方法で漁獲・生産された水産エコラベル商品を選択的に仕入れる動きが高まっており、日本でもこれに賛同する企業が増えてきています。国内の生産現場では、この動きに呼応する形で水産エコラベルの取得が進んでいます。「広島かき」の持続的な養殖を推進するためには、水産エコラベルの取得をめざす必要があります。



●日本発の国際的にも通用する水産エコラベル



マリン・エコラベル・ジャパン(MEL)は、一般社団法人マリン・エコラベル・ジャパン協議会がスキームオーナーとして策定・運営する、我が国の資源管理の実態等を踏まえた規格・認証スキームです。

MELは海面漁業及び内水面漁業、養殖業に関するFAOの水産エコラベルガイドラインに沿って、日本の特長を踏まえた水産エコラベルスキームの要求事項を定め、GSSIからの承認を取得しており、国際的にも通用する水産エコラベルとなっています。広島県のかき養殖では令和3年11月に、地御前漁業協同組合がMEL認証を取得しました。

10 (参考資料3) 漁業系廃棄物の種類(例)

漁業系廃棄物には、一般廃棄物と産業廃棄物があります。
 漁業生産活動に伴って生じた漁業系廃棄物は、事業者自らの責任において適正に処理する義務があります。

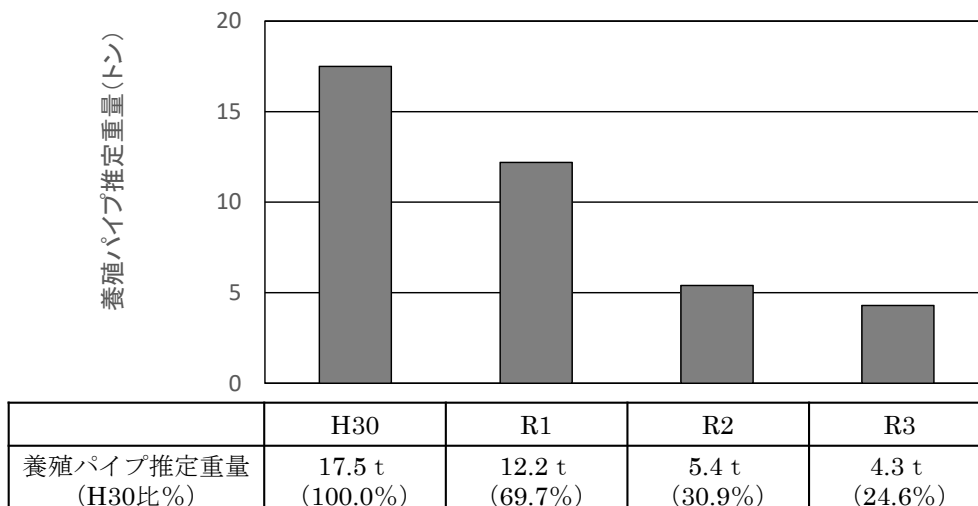
漁業系廃棄物	一般廃棄物	分類		具体的名称
		木	く ず	木船、艀装材、竹竿、木製魚箱
		紙	く ず	包装材、ダンボール
		織 維	く ず	天然繊維ロープ類、ウエス類
		魚 介 類	残 渣	貝殻、付着物残渣、斃死魚
		燃 え が ら		一般廃棄物の焼却残渣
	そ の 他		日用雑貨品	
	産業廃棄物	分類		具体的名称
		廃プラスチック類		FRP廃船、漁網、発泡スチロール魚箱、包装資材、 <u>フロート・浮子類</u> 、 <u>廃シート類</u> 、のり簀、のりひび、化繊ロープ類、ブイ、 <u>かき養殖用パイプ</u>
		廃油		廃潤滑油、重油、軽油、灯油、ガソリン、塗料等の使用残渣
金 属		く ず	鋼船、漁船艀装材、アンカー、養殖いけす用金網、廃缶類、廃ワイヤー類	
ガ ラ ス		く ず	廃ガラスフロート	
陶 磁 器		く ず	たこ壺	
建 設 廃 材			コンクリートシンカー	
燃 え が ら			産業廃棄物の焼却残渣	

(注) 環境省の漁業系廃棄物処理ガイドラインから引用

11(参考資料4) 養殖資材流出防止対策

令和元年9月に広島県の全てのかき生産者が作成した「かき養殖資材流出防止計画」に基づき、資材流出対策への取り組みを、これまで以上に強化しています。特に、重点的に取り組んだ養殖パイプについては、広島県海岸漂着物実態調査結果において、令和3年度には平成30年度比で24.6%まで減少しています。

この取り組みを継続・強化することで、養殖資材を流出させない、環境にやさしいかき養殖を目指していくことが重要です。



広島県海岸漂着物調査におけるかき養殖パイプの推定重量(広島県環境保全課資料から引用)

広島県農林水産局 水産課

〒730-8511 広島市中区基町10-52

電話 (082) 513-3610 (ダイヤル)

FAX (082) 227-1579
